

令和4年度 大豆情報 総括号

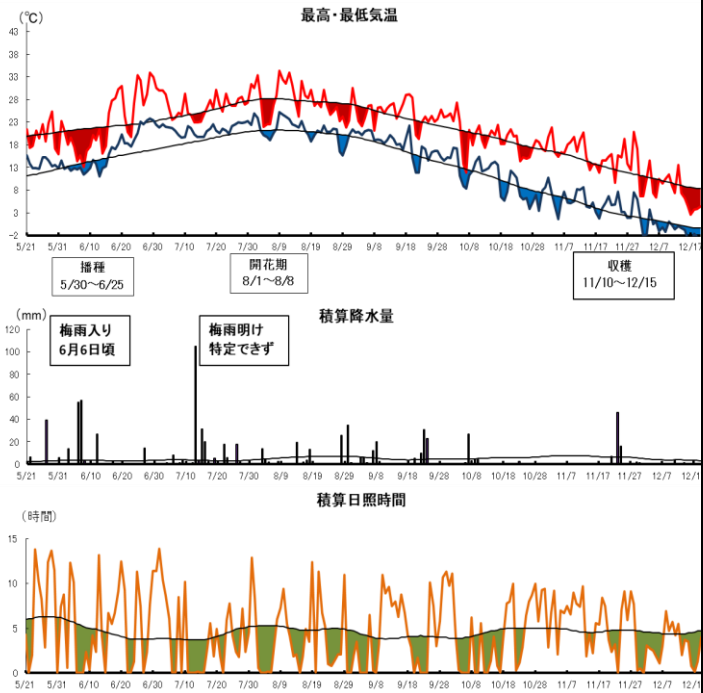
宮城県亘理農業改良普及センター

令和5年2月20日発行

電話0223(34)1141 FAX0223(34)1143

ホームページ<https://www.pref.miyagi.jp/site/wrnk/>

1 気象(アメダスデータ(亘理))



		本年	平年	平年比(%) 平年差(°C)			本年	平年	平年比(%) 平年差(°C)
5月下旬	最高気温	20	20	0	9月	最高気温	25	24	1
	最低気温	14	12	2		最低気温	18	17	1
	平均気温	17	16	2		平均気温	21	20	1
	積算降水量	52	35	149%		積算降水量	116	205	57%
	積算日照時間	79	62	127%		積算日照時間	140	122	114%
6月	最高気温	23	22	1	10月	最高気温	19	19	-0
	最低気温	16	15	1		最低気温	11	11	-0
	平均気温	20	18	1		平均気温	15	15	0
	積算降水量	174	142	123%		積算降水量	42	144	29%
	積算日照時間	157	140	113%		積算日照時間	135	143	95%
7月	最高気温	27	25	1	11月	最高気温	16	14	2
	最低気温	21	19	2		最低気温	5	4	1
	平均気温	24	22	2		平均気温	11	9	2
	積算降水量	227	177	128%		積算降水量	73	64	113%
	積算日照時間	136	129	105%		積算日照時間	167	143	117%
8月	最高気温	28	28	-0.1	12月上 ~中旬	最高気温	8	10	-2
	最低気温	21	21	0		最低気温	-1	1	-1
	平均気温	24	24	0		平均気温	4	5	-1
	積算降水量	122	154	79%		積算降水量	5	23	22%
	積算日照時間	113	155	73%		積算日照時間	60	90	67%

(注)小数点以下は、四捨五入。

■播種(5~6月)

6月の最高気温は平年値を1°C程度上回り、降水量は平年比の123%、日照時間は113%であった。

■開花期・着莢期・莢伸長期(7~8月)

東北地方南部において、梅雨入りは6月6日頃(平年より6日早い)で、梅雨明けは時期がはっきりしなかったため、特定されていない。

7月13日に105mmの降水量があった。8月の最高気温は平年並であった。8月上旬~9月上旬に適度な間隔で適量の降雨があった。

■子実肥大期・黄化期(9~10月)

9~10月の気温は平年並であった。台風の接近は無かった。

■収穫(11~12月)

11月中旬~12月中旬の降雨は少なかった。

大豆の作柄に影響した特徴的な気象経過

<気象経過>

- 播種後~7月の高温多照
- 開花期・着莢期の高温回避、適度な降雨
- 子実肥大期の多照
- 豪雨少ない

<作柄への影響>

- 生育量 多
- 開花数・着莢数 多
- 子実肥大 増
- 生育安定・収量 高

2 成熟期調査, 収量調査結果

調査ほ (品種)	播種日	開花期	栽植 密度 (本/㎡)	成熟期調査			収量調査				
				主茎長 (cm)	主茎 節数 (節/本)	稔実 莢数 (莢/本)	10a 当収量 (kg/10a) 粒径 7.3 mm 以上	百粒重 (g) 粒径 7.3 mm 以上	粒径別重量比 (%)		
									7.3~ 7.9mm	7.9~ 8.5mm	8.5mm 以上
名取市増田 (ミヤギシロメ)	6/18	8/6	12.7	81 蔓化無	16.1	46.1	376	43.8	2	23	75
岩沼市新板橋 (ミヤギシロメ)	6/22	8/6	7.3	73 蔓化無	15.5	67.0	310	43.3	1	25	74
山元町南野地 (ミヤギシロメ)	6/3	8/1	10.3	80 蔓化無	17.3	34.2	254	40.7	4	39	57
平均			10.1	78	16.3	49.1	313	42.6	2	29	69

(注) 成熟期調査は、12本×2区の平均値。収量調査は、2m×2区の平均値で水分15%に換算。

- 3ほ場平均の主茎長は78cmで蔓化、倒伏は無かった。
- 3ほ場平均の坪刈り収量は313kg/10aであり、高収量であった。
- 3ほ場の平均百粒重は42.6gであり、大粒であった。
- 被害粒は全体の1%であり、マメシンクイガによる食害と腐敗によるものであった。紫斑病はほとんど見られなかった。

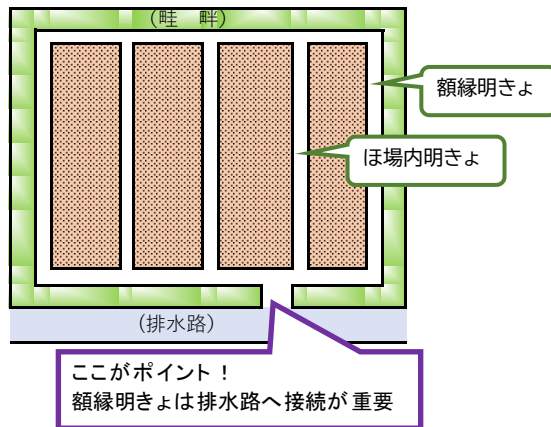
次年度の技術対策のポイント

大豆栽培では、排水対策が最も重要です。

1 通排水機能の確保

- ・暗きよが通っていても、通排水のための明きよは必要です。
- ・排水路への接続を確認しましょう。

- 明きよの機能
 - ・表面水の速やかな排水路
 - ・干ばつ時の給水路
- 明きよの深さ：約50cm
- 明きよの間隔：10m~30m



2 中耕・培土

播種時期	回数	タイミング
普通栽培	2回目安	①大豆2~3葉期：子葉節まで
		②大豆6~7葉期：初生葉節まで

湿害防止、倒伏防止や除草効を高め、活力の高い新根発生を促すため、適切な時期に中耕・培土を実施しましょう。